

川崎製鉄(株)技術研究所の



約35%、すなわち約3 500万トンを輸出しています。秩序だった原料輸入、製品輸出が世界の鉄鋼界から要望され、期待される所以であります。

（加）国内でも都市生活者の環境と製鉄業との調和の問題でありま

す。生活水準の向上を目ざす都市生活者の環境と工場とは、調和のとれた共

（加）国内でも都市生活者の環境と製鉄業との調和の問題でありま

まいます。

この様な問題点は、鉄鋼業と社会、鉄鋼業と世界という外界環境との関連を、示唆したものであります。すなわち、科学技術が社会の進歩に貢献するべく存在することから、あらかじめその主効果と共に、広く副次的影響を考慮することが必要であります。今後、わが国の鉄鋼産業を、より評価高からしめるための、皆様方の一層の御研鑽を要望いたします。資源に乏しいわが国として、輸入資源の効果的な使い方と共に効果的な資源の回収回転に加え、同じ目的を果たすための鉄鋼以外の材料に対しても、目的の如何では資源の

（加）国内でも都市生活者の環境と製鉄業との調和の問題でありま